

この生衛ジャーナルは宝くじの普及宣伝事業として作成されたものです

# 生衛ジャーナル

編集・発行 財団法人 全国生活衛生営業指導センター

年間テーマ

## 「広げよう 元気の輪、地域の輪」

- 特集「古代へのいざない」
- 時の話題「メタボリック症候群」
- 働く女性のこだわり日記

2006

7



# C O N T E N T S

巻頭言	1
特集 古代へのいざない	
総論	2
お店探訪	3～9
時の話題「メタボリック症候群」	10
センターにゆうす	11
厚生労働省から	12～13
景気動向調査	14～15
消費生活相談の現場から	16～17
特相員だより	18
せいえい短信	19
センターをたずねて	20～21
ほっとブレイク	
連載「ぶらり旅・きまま旅〈8〉」	22
働く女性のこだわり日記	23
編集室から	24



隅田川花火

## 原稿・情報をお寄せください

### お店探訪 (3～9ページ)

ユニークな経営、集客、地域活動などを行っている生衛業関係のお店をお知らせください。自薦・他薦を問いません。

### センターにゆうす (11ページ)

都道府県の各生活衛生営業指導センターで計画中、あるいは実施した特色ある企画や活動など。

### 特相員だより (18ページ)

生衛業の開店・融資・経営などの相談にまつわる成功・失敗談やエピソードなど。

### その他、ご意見や提言

### 投稿方法

郵送、Fax、E-mailで。郵便番号、住所、氏名（匿名希望の場合はその旨を）、電話番号などの連絡先を明記してください。

### 送り先

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1 エスピービル 菅原印刷株式会社 生衛ジャーナル制作部

Tel: 03-5687-2211(代) Fax: 03-5687-2310 E-mail: journal@sugawara-p.co.jp

## 商店街のあり方を考える

～学生カフェの試みを例に～

昨2005年秋、私の勤務する大学で京都市内の商店街に学生カフェをオープンさせた。大学の「コミュニティキャンパス」という試みの一環で、連携協定を結んだ地域（この場合は商店街）で学生がフィールドワークを行い成果を提言したり、大学としても地域に寄与できるような企画や講演などを行っている。私もそのスタッフの一人である。

カフェといっても2週間の期間限定で、大学で実施する「起業セミナー」の仕上げの営業実習であり、大学が借りる空き店舗を使用しているものである。学生たちが考えたコンセプトは「若者向け」の店づくりであり、日頃素通りする若者を客層に取り込むことで、商店街の賑わいを増やそうというものであった。内装も、若者向けにやや派手めのレイアウトを試みた。

ところが学生たちのねらいとは異なり、日中は意外に商店街の買い物に行き交う中高年の女性の方たちの来店があった。この商店街は生鮮品主体で飲食店がほとんどないことに加え、周囲の住宅街では高齢化も進んでいる。買い物や通行の来街者が気軽に休息し憩えるような機能や施設が、あまりにも少なかったのである。

商店街の衰退が指摘されて久しい。大型店の進出、空き店舗問題、店種構成や営業時間の問題、後継者不足など、多々要因が指摘されている。いずれも重要な問題であるが、少し課題を絞り込んでみよう。これまで商店街の課題は、大型店進出や中心市街地の衰退に代表される外在的・ハードウェア的要因を指摘されることが多かった。しかしそれ以上に、内在的要因、すなわち個店の経営者や商店街の意識・姿勢が重



大学で講義する筆者（正面向かって右端）

要であろう。そこで問われているのは、地域社会や住民のために何をすべきか、という視点であり、商店街は地域のための装置・資源であるという認識である。これを実現するためには、冒頭の喫茶・休憩施設を始め、生鮮品や飲食店に関わることなら「健康」「共食」「食育」に関するイベントや活動、高齢者サービスとして、宅配・買い物代行業業・荷物預り所・健診など、多様な試行例をあげることができる。既にこれらは各地の商店街で実践されている。

もちろん個店として取り組むこともできるが、組織としての商店街（振興組合・商店会）のあり方は重要である。商店街は単なる個店の集積ではない。組織であるが故に可能な取り組みを進めていくべきではないだろうか。単に集客のためのイベントではない、いわば、私的領域と公的領域（例えば行政）の間で、地域や住民に対するサービスを考え、実行してほしい。その活動が、やがて商店街への評価とつながり、個店の利益へと還元されることにもなるのではないか。

こんなことを書くと、「やれる人がいない」「手を挙げる者がいない」「コンセンサスが得られない」といった反論が出てくるかもしれない。まず個店の取り組みから始め、それを商店街の取り組みへと発展させていくことを考えてもよい。商店街が主体的に施設や活動の場、連携先を模索したり、必要な地域資源を発掘していくことにも挑戦してほしい。まず商店主の意識改革、次いで商店街のやる気が、生き残りを左右する、といえオーバーであろうか。



# 特集 古代へのいざない



## 古代への限りなきこだわり 魅力は非日常的な世界のロマン 古代への執念が実を結ぶ

日本大学経済学部講師 池田 光男

今号の特集のテーマは「古代へのいざない」である。一般には、古代とは原始的な生活をしてきた縄文・弥生時代をはじめに、4～5世紀にかけ日本最初の統一政権を確立した大和朝廷時代から奈良・平安時代を含めるなど範囲は広い。

ここに取り上げられた「お店探訪」の3店でいう古代とは、奈良中期時代以前をイメージしているようである。時代はさておき、3店に共通している経営方針は「古代への限りなきこだわり」である。

共通する具体的な方策として、まず「非日常的な世界の演出」が指摘できる。われわれが日常生活では味わえない世界を築きあげ、お客さんに夢と感動を与える演出を行っている。「万葉料理妹がり」では、料理の素材を工夫することで、古代の生活への想像を膨らませる世界を演出。「古代米おりぎ」では一歩店内に入ると古代稲（米）の世界に誘われる。また、「松園」では旅館の建物を竪穴式住居にして、その中で“古代の食卓”を囲み食事をするなど、古代生活の再現が体験できる。

第2は自然界への復古を経営の基盤としていることである。古代では、調理器具、調理方法が発達してなく、食事は自然の法則に従わざるを得ない。「万葉料理妹がり」では、自然パワーの吸収を核に万葉料理を再現。「古代米おりぎ」では、精製しない古代米による多数の加工品製造や古代米食堂を併設している。「松園」では、古代米、赤米、黒米を炊いた飯、

野生鹿肉、ドングリの粉のパンなど、古代の自然を生かした調理を工夫している。

3番目は古代生活の知識を集約、古代再現へのあくなき挑戦である。特徴的なのは、各経営者とも自分の世界に閉じこもることなく、研究者や第3者の意見を吸収し、地元における古代の価値を全国的に高めることに没頭し、挑戦を続けている。古代米の佐藤氏は勤務先を早期退社し、古代米によるまちおこしのため私財を投入するほどまで、熱い想いを込めている。そこにあるのは古代への執念だ。

このように一つのテーマを目標に、新たな事業に取り組むのには生半可な気持ちでは出来ない。ましてや、先発企業ともなれば、参考になる材料がなく、すべて一からの出発である。重要なことは、人間誰しもがもっている創造性の発揮、壁をぶち破る前向きのチャレンジ精神、旺盛な研究心、そして技術提供、助言、指導面での支援者の存在である。これらなくしては前進できない。

何をやりたいのか、信念をしっかりとつ



取り組むべきことへの執念をもつ



第3者の意見等参考に、研究開発に取り組む



テーマにこだわった追加新製品開発で多様化

# 2000年前の“楽しきわが家”

旅館「<sup>しょうえん</sup>松園」

住所：島根県簸川郡斐川町学頭（湯の川温泉） 経営者：北脇 豊史さん 電話：0853・72・0024

URL：http://www.shouen.jp



まるで、古代に  
タイムスリップ  
してみたいだね。

何か  
ワクワク  
してきた♪



お料理も  
古代食なのね。  
食のタイムスリップ  
だね！

## お店探訪



松園主人の北脇豊史さん

古代人の生活と聞いて、皆さんはどのようなイメージを抱くだろうか。ナウマン象のような巨大動物に立ち向かい、ほら穴に住み、たき火で寒さに耐える生活——？ 原始人と、2000年前の祖先のイメージは、かつては混同も多かった。だが近年の調査や相次ぐ発見によって、古代の生活は食糧備蓄技術もあり、青銅器や土器に高い技巧と美術を凝らす、一面では現代人が求めてもできない豊かな生活だったと分かってきている。そんな、いにしへの

世界にタイムスリップして振る舞いを受ける旅館が、島根県斐川町湯の川温泉にある「松園」



松園自慢の古代食「弥生の宴」。現代生活ではめったに味わえない赤米や、醍醐など古代の乳製品、鹿肉や山川の珍味が並ぶ



「健部の郷の宮処」の内部。松の一枚板をはめた鴨居に迫力がある。連泊して「古代出雲探訪」の拠点にする客も多い

だ。  
(文中敬称略)

「いらっ  
しゃい。どう  
ぞこちらへ」  
——案内す  
るのは松園二  
代目、北脇豊  
史。そこには  
威風を感じる  
3棟の古代建  
築が並ぶ。背  
景に出雲平野

の穀倉地帯が広がり、神話の大蛇ヤマタノオロチに例えられる斐伊川が悠々と流れる。

旅館の自慢はこの建築と、北脇が20年来、文献を読み、研究者に聞きながら復活させていった「古代食」の数々。土師器、須恵器といわれる復元土器に、白米が普及する以前の古代米、赤米、黒米を炊いた飯。島根半島を駆け回る野生鹿肉の刺身。日本海産のサザエ、タイ。斐伊川のアユなど、山川海の味が所狭しとならび、鮮やかに食を彩る。

なかでも驚くのはドングリの粉を使ったパン。縄文や弥生人の生活で、ドングリの実が主要な食物だった。味は小麦粉と違い野趣が残るが、古代と“舌でつながった”と想うと

感動が湧いて来る。続いて古代の「乳文化」。平安時代までは日本人の食卓にも牛や羊の乳を使った乳製品が並んでいた。北脇は平安時代のレシピから、酥とよばれる乳麩と醍醐と呼ばれるチーズも再現した。

「酥は一リットルの牛乳を焦げ付かないようにとろ火で4時間ほどゆっくりと煮詰めて、水分を飛ばします。鍋の底に残った固形物が酥。それをさらに約30分煮詰めたのが醍醐です」

酥が豆腐のようにさっぱりしているのに比べて、醍醐は外側の「さくっ」とした歯ざわりのあと、口中にこくと深みが広がる。今も言う「醍醐味」とはこのことかと、舌で納得させられる。

こうした食材は多くが市場にないため、北脇が猟師や農家に頼み納入ルートを作った。調味のかなめになる塩は、北脇自身が日本海の海水を汲み、煮詰めた自家製塩。季節に合わせて食事を彩るノビル、ワラビ、ナズナなどの山菜の数々も、北脇が山野に分け入って採ってくる。ご馳走という言葉そのままに、島根の海、湖、川、山を駆け回って集めた食材の数々だ。

北脇が「古代」に関心を持ったのは、昭和59年、数キロ先の山手にある同町神庭荒神谷の農道工事現場で見つかった358本の銅剣がきっかけ。その出土数は、それまでの全国で発見された銅剣の総数を単独で上回り、翌年にはさらに銅鐸（6個）と銅矛（16本）が発見された。



松園本館の「岩しずくの湯」には出雲市在住の陶芸家・安食ひろさんによる、前方後円墳をイメージしたオブジェが。湯は加水加温のない、源泉かけ流し



皆楽庵内部。囲炉裏を囲んでの古代食や、地中で捕れたイノシシ鍋を振舞う。白酒が入ると、気分は“2000年前の宴”



食事時に貫頭衣という古代の衣服を用意。皆楽庵で、焼きアユを着に楽しいひととき

のちに「荒神谷遺跡」と命名された。

当時、考古学者は上を下への大騒ぎだった。何しろそれまでは、九州、近畿の調査一辺倒。「古代出雲」は、古事記、日本書紀でその記述に大部分が割かれているにも関わらず物的証拠が乏しいことから、「物語の世界」と公言している学者も少なくなかった。この発見で古代史は塗り変わり、出土品は国宝に指定された。

斐川町は律令制の時代、一帯が「出雲郡」と言われた“出雲の中の出雲”。荒神谷遺跡を町民が誇りにし、遠祖に想いを馳せたのは当然だった。北脇もこの発見に胸躍らせた一人。出土を記念し毎年開く地元主催のまつりで、北脇は「古代食」を提供し始めた。

食に人気が集まるのを見て、北脇は「まつりだけで留めておくことはもったいない。いっそ、本物の竪穴式住居の中で味わいたい」と旅館の新棟建築を決断。同級生の大工、高木禮次の力を得て、平成3年に「皆楽庵」を造った。肌で地面のぬくもりを味わい、囲炉裏の炎で串刺しにしたアユをあぶりながら、白酒を酌み交わす「古代の食卓」ができた。

松園で古代食を予約したお客様には古代の衣服「貫頭衣」を着ていただくサービス（前ページ右下の写真参照）もある。こうして、お客様は居ながらにして古代の衣・食・住を堪能できる。

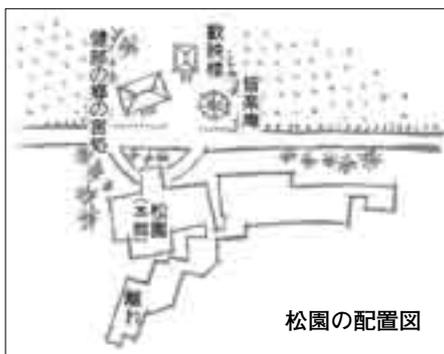
松園は年を追うごとに話題を集め、他県からも多くの客が訪ねるようになった。研究者からアドバイスや応援を受けることもしばしば。北脇の古代熱にも加速が付き、一級建築士の兄、努の力も得て平成5年に完成させたのが、高床式倉庫の「歓映楼」。満を持して平成7年に建築したのが、古代の宮殿をイメージした特別室宿泊棟「健部の郷の宮処」。屋根は本茅葺き。内装はその外観とはまったく違え、畳敷き和室で八畳二間、バス、トイレを備えた。鴨居には豪壮な松の一

枚板をあしらい、ベランダからは朝鮮半島から八東水臣津野命が引き寄せたという島根半島を臨む。

こうして松園に、大国主命と八上姫との恋物語が残る“湯の川・美人の湯”がある本館と和会席、古代料理、古代住居と、古代から現代までを五感で結ぶ宿泊と食事のレパトリーが揃った。

北脇が三棟建築に投資した費用は5,000万円。「『出雲に来たらあそこ』といわれるオンリーワンの旅館を目指しました。文化遺産と、商売を

上手く結び付けたい。そうすることが古代出雲の価値を、現代に高めていくことにつながるのではないのでしょうか」。落ち着いた言葉から情熱と、自信が伝わる。



水を湛えた水田前にした古代住居。左から竪穴式住居の「皆楽庵」、古代の宮殿をイメージした「健部の郷の宮処」、高床式の倉庫を再現した「歓映楼」



「歓映楼」の内部。北脇さんが集めた中国の古代の銅器や、衣服が展示されている

# 古代米を町おこしに

## 食堂「古代米おりざ」

住所：岩手県一関市花泉町涌津字境11-3 代表：佐藤 正弘さん 電話：0191・82・3372

営業時間：10：00～19：00 定休日：なし

### お店探訪

色とりどりの美しい穂、栄養価の高い健康食材…。奥ゆかしい名前の古代米が、雑穀ブームにもあやかって、今、首都圏はじめ全国の自然志向派の間で静かな人気を呼んでいる。この古代米食文化の情報発信源は、岩手県一関市花泉町にある花泉古代稲生産組合の直売所兼食堂「農業の六次産業館 古代米おりざ」。おりざ（Oryza）は、稲の学名。六次産業は同館代表の佐藤正弘（62）の造語で、一次（生産）＋二次（加工）＋三次（販売）＝六次とか。佐藤は、「ここを拠点に古代米を花泉町のシンボルに」と夢を広げる。

（文中敬称略）

「古代米おりざ」は、宮城県境に近いJR東北本線花泉駅から徒歩10分足らずの主要道路沿いにあった。道路とほぼ直角に、「直売所」、「お食事&喫茶」などと大書したカラフルな木製状の大看板が立ち、行き交うドライバーや通行人の目をひきつける。

一步、店内に入ると、時は昔に遡り、古代米の世界に誘われる。古代米コーナーをメインに、所狭しとばかり、ずらりと展示された古代ロマン粥、古代ロマン蕎麦、古代稲わら細工などの加工、販売品、そして棟続きの食堂。

佐藤の人生に一大転機が訪れたのは、12年前の平成6年。当時、佐藤は花泉町農業開発センター所長として、スタッフ5人とともに町内の作物開発、農家指導などにあたっていた。突然、上司の町長から「花と泉の公園内に、



食事をする地元の人たち

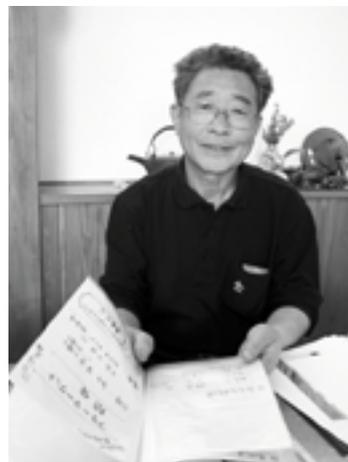
観光用の日輪田（ひわだ）を作れ」と命じられた。日輪田とは、神などに供える献上米用の丸い田んぼ。

佐藤は「農業と観光を結

び付ける日輪田」にふさわしい稲（米）は何かと、文献などを参考に、いろいろ模索した結果、穂が色彩豊かな古代稲にたどりついた。

古代米は、縄文～弥生時代に原産地とされている中国から渡来したといわれ、玄米表皮に色素を含む「赤米」や「黒米（紫黒米）」、匂いのある「香米」がある。

古代米は、江戸時代までは日本各地で広く栽培されていたが、白米の誕生で、明治時代には、一転、雑草扱いとなり、赤米、紫黒米などの



古代米おりざ代表の佐藤正弘さん

有色素米が次々と駆除され、姿を消していった。しかし、わずかに、各地の神社が神事用として継承してきたほか、一部の研究者らが山間地などで作り続けていたという。佐藤は、全国各地を訪ね歩いて、＜優秀な種もみ＞探しを続け、結局、茨城県・つくば市の農林水産省「農業研究センター」から貴重な種もみを分けてもらった。

準備が整い、翌平成7年春には、「花と泉の公園」内に直径20mの日輪田も完成。町長自らが3種類（赤米、紫黒米、緑米）の古代稲を植えた。佐藤らの願いを込めた稲苗は順調に育ち、実りの秋、その稲穂の美しさは、公園を訪れた町民、観光客らを魅了した。

佐藤の苦労は報われ、さらに古代稲普及への情熱を駆り立てた。まだ、食べることまでは考えなかったもので、色彩の最も目立つ時に稲穂を刈り取った。「色を生かしたわら細工」用の青刈りだった。

この際、佐藤は「休耕田で大々的に古代稲を栽培し、稲わら細工などで付加価値を付けて販売する。これをまちおこしの起爆剤にできないものか」と考えたという。平成8年、応募者に部下の町農業開発センター職員らを含め10人足らずで「古代稲研究会」を結成した。古代米の成分分析、1村1品の特産化などへの勉強会を続けた。

古代稲の種類は、佐藤が自ら植えてみたものだけでも65種類もあり、それぞれの穂の色が違う。青刈り乾燥した稲穂は、そのままドライフラワー風の「古代稲ドライ」や「古代稲わら細工」（宝船や鶴、亀、干支、各種縁起物など）に加工、古代米は小麦粉やそば粉と組み合わせて「古代ロマン麺」や「古代ロマンそば」、あるいは「古代ロマン粥」、「古代米茶」などに加工し、ご飯用には白米とブレンドしてから販売する。

佐藤は、その後の人生を「花泉の古代米」の“全国ブランド化”に全力集中しようと決意し、平成10年3

月、町役場を早期退職した。定年までまだ先の長い53歳の時だった。

「古代稲研究会」を解散して「生産組合設立」を古代米栽培農家に呼びかけ、同年6月10日、21人の賛同者で花泉古代稲生産組合を結成、自らは事務局を引き受けた。

花泉町内の古代米栽培面積は、現在、黒米61%。昨年の収量は30キロ入り700袋で計21トン。赤米はぐっと少なく、20%で収量は25袋。

古代稲、古代米の加工品だけでも40種類以上。加工品などの展示、販売所が必要になってきた。佐藤は私財を投じ、農産物直売所「農業の六次産業館 古代米おりざ」を平成14年4月に建設した。棟続きの「食堂」は、常連客らから「休み場、食事の場が欲しい」という声が高まったため、増設することにした。この食堂棟は、平成16年9月に完成、オープンした。

食堂のお勧めメニューは、古代米入りの「おりざ定食」（750円）と「おりざうどん」（550円）。料理づくりは佐藤の妻・佳枝子（61）とスタッフ一人の受け持ちだ。買い物客、観光客らの人気が高い。

官主導で始まった花泉町の「六次産業まちおこし」。10余年の歳月と多くの苦境を乗り越え、今、見事、花開いた。佐藤は淡々と言う。「基礎は出来上がった。私はこれだけで満足です。あとは、お客様の口コミだけで一人歩きしてくれるでしょう」。



左側の建物が食堂  
古代米おりざ。



おりざ定食の一例

# 自然パワーの万葉料理

## 万葉料理 いも 妹がり

住所：滋賀県大津市苗鹿3-12-1 ロータリーピア88内 レストランマネージャー：前田 真一さん

電話：077・579・5554 営業時間：(昼) 11:00～15:00 (夜) 17:30～20:30

定休日：火曜(祝日は営業) URL：<http://www.rotary-pier88.com>

### お店探訪

滋賀県、琵琶湖の西側を走る国道161号線にある「ロータリーピア88」の案内板に従い、琵琶湖岸へ向かう。大小様々なクルーザーなどが係留され、奥に建つクラブハウスの中、レストラン「ボーリバーヂュ」とフロアを共有して万葉料理「妹がり」がある。万葉料理と聞き和風を想像していたので、洋風のしつらえにちょっと驚いたが、やがて琵琶湖を眺めながら広々としたリゾート気分も楽しめる格好の場所と考えを改めた。妹がりは、今から1300年以上昔、京都平安京よりもさらに古い「大津京」ゆかりの地で、当時の庶民の生活に思いを馳せ、万葉ロマンを食事に託して提供している。(文中敬称略)

ロータリーピア88はヨットやボートを預かる会員制のクラブで、ボートライセンススクールなどもあるマリナーリゾート。7年前にレストランなど一部を一般に開放したのを機に、より多くの人に万葉料理を味わっていただきたいと、大津市内に店舗があった妹がりもこちらに移した。

「万葉時代、妹は妻・恋人など愛しい女性を指し、妹がりは『妹許』または『妹処在』と書いて愛しい女性の居るところというのが店名の由来です」と話すのは、レストランマネージャーの前田真一。

当時の詳細なレシピがあるわけではないが、「おうみ淡海万葉の会」の会員らにも意見を聞き、「自然パワーの吸収」をキーワードに料理をよみがえらせている。おそらく万葉人は自然の持



妹がりのあるロータリーピア88のクラブハウス



店内。ゆったりとした空間でいただくことができる

つ生命力を無駄なく血や肉に転換していたはず。現代においては、万葉の文化に触れつつ、当時の生活への想像を膨らませる料理で、おいしく食べて健康にも気遣って欲しいという願いも込めている。

「一番気を使うのは、手をかけずに素材の旨味を引き出すことで、塩のさじ加減で味が変わってしまいます」と話す料理長・多川孝信。



料理長の多川孝信さん（左）とレストランマネージャー前田真一さん

万葉時代は、塩、<sup>ひしお</sup>醬、酢が代表的な調味料で、現代の醤油に当たるものとしては、魚醬や穀醬があげられるが、どんな味なのかはよくわからない。多川の苦労は醤油を使わずに味にバラエティー、強弱をつけねばならない点で、食材によっては醤油を使うこともあると明かす。

旬の食材を使うので、献立は3週間から1か月で変更される。野菜は近くの契約農家が栽培する有機栽培のものを吟味している。万葉時代にもニワトリ、カモ、キジなどの鳥肉と、ウシ、ウマ、シカ、イノシシなどの獣肉、魚介類が食べられていたことは知られており、コース料理として充分に楽しめる品数が提供される。

昼の人気メニュー「ひるがお」(1,575円)は、信楽焼きの素焼きの大皿に8種を盛り合わせ、本日の一品と玄米ご飯、汁物、水菓子のコース。取材の日は、ゆでキャベツは胡麻和え、インゲンは土佐和え、大根と胡瓜はもろみ味噌和え、南京と枝豆はてんぷら、茄子とさつま芋は煮物と、大皿の上の豊富な野菜はシンプルで素材の旨さが伝わってくる。

なにより特筆すべきは「蘇」。古代のチーズで牛乳を煮詰めて作ると聞いたことはあったが、見るのも食べるのも初めてだ。コクのある不思議な味わいだったが、きっと食していたであろう万葉人への想像が広がった。

多川は「万葉料理は前例のない分野。これ

からも日々研鑽です」と表情をひきしめた。団体予約などには、乞われれば薬膳的な料理へのアレンジも行い、多くの意見や指導を仰ぎながら、より万葉時代を追及しつつ喜ばれる料理を目指すという。

料理の他にも好評なのが食材別・効能説明を印刷した紙製のランチョンマット。たとえば「茄子…紫色の色素（ナスニン）が動脈硬化やガン予防に効果を発揮、お酒の肴に食べれば悪酔いしない」などと書かれている。記念に持ち帰る人も多いそうだ。「話題性があると、地元の婦人会や老人会の方の利用も多い」と前田。「インターネットで調べた」と、遠方からの客もある。

前田は「家族連れで訪れ、年配のご両親は万葉料理、子どもさんやお孫さんはレストラン・ボーリバージュの洋風料理という楽しみ方もできます」と続けた。美しく手入れされた芝生の向こうに広がる琵琶湖を眺めると、会員制リゾートの贅沢な気分にも浸れ、長時間滞在される人が多いという言葉に納得だ。

わが国最古の歌集「万葉集」は、全20巻、大津京の時代も含めた約130年間、4516首の歌がおさめられている。この内、近江（淡海）を詠んだ歌は100首以上ある。万葉料理は、大津京とともに、万葉集に詠まれた近江への思いを現代へとつなぐだけでなく、食文化のありようも提案しているように思われた。



素焼きの大皿が万葉らしさを演出する「ひるがお」。手前の四角形が蘇

## メタボリック症候群

中高年のうち男性の約半数、女性の2割が、おなかに脂肪がたまるメタボリック・シンドローム（内臓脂肪症候群）の予備軍であることが厚生労働省の調べで分かった。心筋梗塞や脳卒中リスクが高まるとされているが、内臓の脂肪を落とせば比較的楽に克服できる。むやみに不安がらず、毎日1時間を目標に歩き、食事は腹八分目を心がけよう。

### メタボリック症候群の診断基準

- ①ウエストが男性85cm、女性90cm以上
- ②中性脂肪が150mg/dl、または善玉コレステロール(HDL)が40mg/dl未満
- ③上の血圧130mmHg以上、または下の血圧85mmHg以上
- ④空腹時血糖値が110mg/dl以上
- ⑤①に加え、②～④のうち2項目以上に該当するもの

メタボリック症候群は「隠れ肥満」

とも言われる内臓脂肪型の肥満に、高血圧、高血糖、高脂血症のうちいくつかの症状が重なった状態のことをいう。放っておくと動脈硬化になりやすいと言われていたが、まだこの段階では必ずしも病気とは言えない。

内臓肥満かどうかは、ウエ

## 生活改善が近道

### 毎日歩き、食事は腹八分目に

年齢層の男性の2人に1人、女性で5人に1人が「危険水域」に該当する。

さらに、「死の四重奏」とも言われ、肥満に高血圧、高血糖、高脂血症が重なると動脈硬化になり、心臓病や脳卒中になるリスクが高まる点だ。2001年の厚生省研究班調査によると、心筋梗塞など心疾患を発症する割合は、これら4項目の危険因子がない人に比べ、2項目が該当する場合は5・8倍、3～4項目が当てはまると35・8倍に跳ね上がる。

厚労省は、医療制度改革関連法（さる6月14日成立）で、生活習慣病予防の柱として、同症候群の対策を全面に打ち出した。40歳以上の健診と保健師・管理栄養士らによる保健指導を強化し、2015年度までに予備軍と合わせ「25%減」の数値目標を掲げている。

新しい健診は、同症候群の発見を重視。予備軍の段階での保健指導強化によって、薬

が必要になる前に受診者に生活習慣を変えるよう促す。生活習慣病の治療費や薬剤費を2025年までに2兆円削減する目標だ。

厚労省が同症候群対策に力を入れる背景には、2025年には現在の28兆円から56兆円に膨張すると予測される医療費の抑制に、死因の約3割を占める心臓病と脳卒中の予防が欠かせないことがある。

同症候群を克服するには、生活スタイルを見直すのが一番の近道だ。

日本肥満学会では3～6か月かけて体重を5%減らすことを推奨している。内臓脂肪は皮下脂肪に比べ落ちやすい。体重を減らせば、その分ウエスト減になる。

自分のおなか周りをチェックして「危ない」と思ったら、まず生活スタイルを見直すこと。血圧や血糖値、コレステロール値なども継続的に調べることが大切だ。数値を軽んじるのはよくないが、過剰に反応することはない。（サイエンス・ライター 橘高 浩一）

## 全国指導センター・全国生衛中央会の正副理事長等の選任

(財) 全国生活衛生営業指導センターと (社) 全国生活衛生同業組合中央会は、任期満了に伴う役員の改選を行い、理事長、副理事長及

び専務理事には次の方々が選任されました。任期はいずれも平成18年7月1日から平成20年6月30日です。

**理事長、副理事長、専務理事選任名簿 (敬称略)**

役職名	指導センター		中央会	
	氏名	業種	氏名	業種
理事長	山下 真 臣	学 識	田 中 清 三	飲 食
副理事長	井 元 弘	食鳥肉	小 原 健 史	旅 館
副理事長	大 藏 満 彦	興 行	安 藤 輝 男	氷 雪
副理事長	鷓 飼 良 平	麺 類	濱 田 康 喜	社 交
副理事長	青 山 亨	クリーニング	大 森 利 夫	理 容
専務理事	小宮山 健 彦	学 識	小宮山 健 彦	学 識

### 宝くじ ア・ラ・カルト

### 当せん者たちの“こだわり”は？

**★ウンは空から**

グリーンジャンボを150枚の大量購入で挑んだのは広島県の自営業、S.Tさん(38才)。というのも、3年前、歩いていたら鳥のフンが額に落ちてきたので試しに宝くじを買ってみると3,500万円に当たったという実績があり、なんと今回も鳥のフンが顔に落ちてきたので大当たりを予感してたくさん買ったのだそうです。そして結果は1等と前賞合わせて1億500万円に命中。これぞ「大コー`フン。」というところでしょうか。

**★遅刻は金なり！？**

香川県の会社員、H.Kさん(29才)の大幸運は、奥

さんと買い物に行くために待ち合わせたことから始まりました。その日は大遅刻してしまい、駆けつけると奥さんはカンカン。「バツとして、そこの売り場で宝くじを買って、当たったらなにかプレゼントしてよ」と言われ、しぶしぶ発売中だった年末ジャンボを10枚購入したそうです。結果は、宝くじ初購入にして1等6,000万円にドンピシャのビギナーズラック。奥さんとしては、その宝くじ券こそプレゼントしてもらいたかったところでしょうか。

**★キャット驚く**

神奈川県会社員、H.Tさん(29才)は、10年近く

になるジャンボ宝くじファン。そして「飼っている猫が福を呼んでくれると信じて宝くじを買っている」という猫好きな方です。昨年の年末ジャンボもいつものように購入し、当せん調べをしようと思った年明け、ふとひらめいて飼っている猫に宝くじ券をこすりつけてから調べてみると、なんと1等・前後賞合わせて3億円にズバリの快挙。これぞ幸運のまねき猫、ですね。

宝くじにまつわる興味深い話題は、日本宝くじ協会のホームページ (<http://www.takarakuji.nippon-net.ne.jp/>) で。

# 「身体障害者補助犬法の施行状況に関する検討会」報告書について



身体障害者補助犬法は、良質な身体障害者補助犬の育成及びこれを使用する身体障害者の施設等の利用の円滑化を図り、身体障害者の自立及び社会参加の促進に寄与することを目的として平成14年5月に制定、同年10月に施行し、約3年間が経過しました。

法律の附則において、施行後3年を経過した場合、法律の施行状況について検討を加え、必要な措置を講じる旨定めております。検討会

は、本年3月から3回行われ、法律の施行状況や関係団体からの意見・要望、それに対する検討会の意見がとりまとめられましたので、その報告書の概要についてご紹介します。

なお、旅館及び飲食店をはじめとする不特定多数が利用する施設におかれましては、今後とも、身体障害者補助犬の同伴が円滑に進みますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 報告書概要

### 普及啓発活動に関すること

- ・現状では補助犬に関する社会的理解が不十分。
- ・実効性のある普及啓発活動を展開することが必要。
- ・具体的な案として、
  - ・補助犬使用者や受入れ側双方からの苦情・相談に関する対応マニュアルを作成し、関係者へ周知。
  - ・地方公共団体、関係部局の職員等への啓発や研修の実施。
  - ・学校における児童に対する啓発や研修の実施。
  - ・障害者週間などにおけるイベント活動の実施。
  - ・新聞・ラジオ・テレビ等のメディアの活用。
  - ・介助犬、聴導犬を必要とする障害者等に対し、有効性を具体的に周知。
  - ・訓練事業者による使用者のマナー向上のための定期的研修、等。

### 相談体制に関すること

- ・特別な相談機関を新たに設置するのではなく、既存の機関を活用。
- ・地方公共団体の福祉部局を中心に、地域保健部局や人権擁護機関等との連携が必要。
- ・相談マニュアル等の作成に関する検討が必要。

受入れ義務化の範囲拡大について

- ・ 民間の事業所、住宅の受入れ義務化については、社会的認識の定着がある程度図られた後に取り組むべき課題。
- ・ まずは実効性のある普及啓発活動を展開。

罰則等の新設について

- ・ 制裁措置を課すには、社会的理解が進んでいることが必要であり、まずは実効性のある普及啓発活動を展開。
- ・ 制裁の手段として、罰金等の罰則は馴染まない。
- ・ 事業者名の公表については、適用の判断基準等の作成や社会的理解が進んでいることが必要との意見。
- ・ 障害者施策全体の議論の中で検討すべきとの意見もあった。

(全文 HYPERLINK "<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/06/dl/s0608-3a.pdf>" <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/06/dl/s0608-3a.pdf>)

## ほじょ犬をもっと知ってください！



(参考)

身体障害者補助犬法に関する法令・通知等については、厚生労働省内のHP内（次のURL）に詳細な情報を掲載しています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/html/a01.html>

身体障害者補助犬(ほじょ犬)は、盲導犬(目の不自由な方の歩行の補助)、介助犬(身体の不自由な方の生活に必要な動作を補助)、聴導犬(耳の不自由な方に音を知らせる)の総称になります。



## 生活衛生関係営業の今年度の設備投資動向

—生活衛生関係営業の景気動向等調査結果から—

国民生活金融公庫 生活衛生企画部 調査課 奥川 智之

生活衛生関係営業の景気動向等調査は、国民生活金融公庫が(財)全国生活衛生営業指導センターに委託して、四半期ごとに実施しているものです。今回は、平成18年1～3月期の調査結果の中から今年度の設備投資の計画についてご紹介します。

この調査は、生活衛生関係営業16業種3,220企業に対し、平成18年2月上旬に聴き取り調査したものです。

○ 平成18年4月以降1年間の設備投資計画について、「予定している」は10.5%（前年同期8.3%）、「未定」は26.3%（同22.9%）、「予定なし」は63.3%（同68.8%）となっており、前年同期と比べ「予定している」が2.2、「未定」が3.4それぞれ増加しました。

○ 設備投資を「予定している」企業を業種別にみると、「ホテル・旅館業」25.0%（前年同期14.2%）、「食肉・食鳥肉販売業」13.7%（同6.1%）、「公衆浴場業」12.7%（同17.1%）の順となっています。

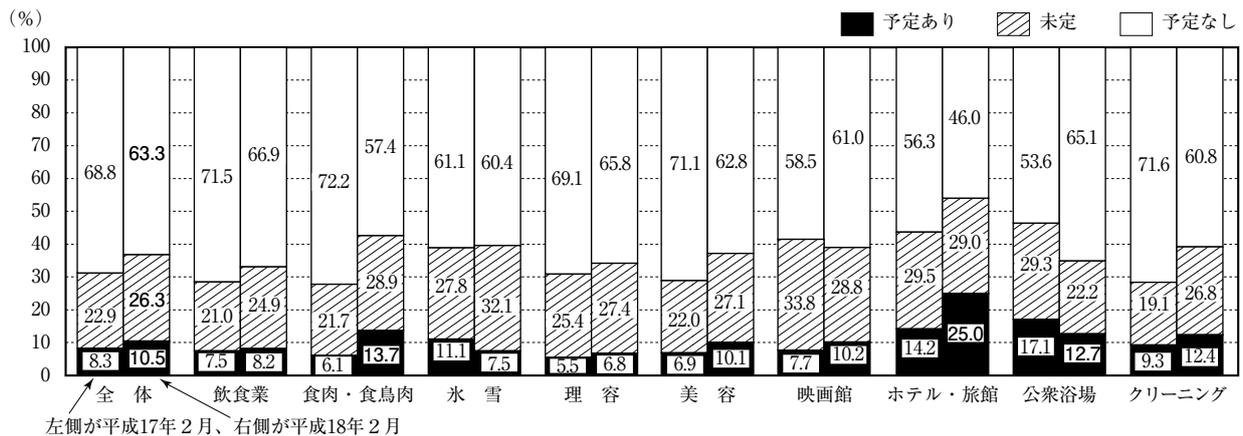


図1 今年度の設備投資計画の実施予定割合（業種別）

設備投資の実施予定時期をみると、調査時点（平成18年2月上旬）において、「3ヵ月以内」とする企業が3.7%（前年同期3.1%）、「4～6ヵ月以内」は3.2%（同2.2%）、「7～12ヵ月以内」は3.6%（同3.0%）となっています。

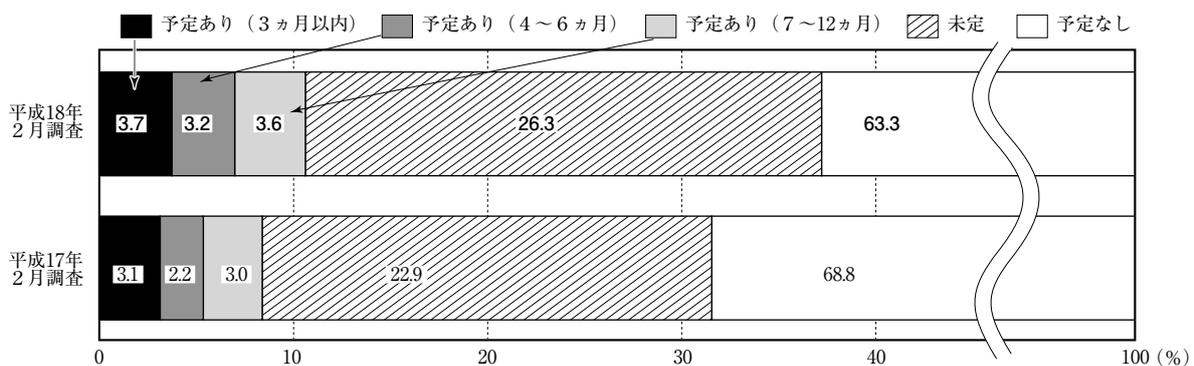


図2 設備投資の実施予定時期

設備投資計画の内容は、「機械・設備の購入」64.6%（前年同期55.3%）、「店内改装」34.9%（同45.5%）、「店舗増改築」7.7%（同6.0%）、「店舗新築・購入」6.0%（同12.8%）の順となっており、「機械・設備の購入」の割合が大きく増加しています。

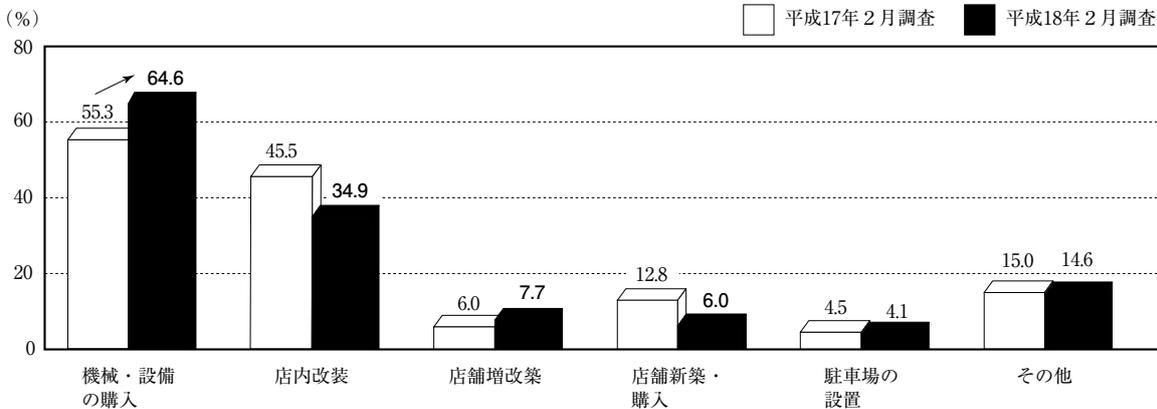


図3 設備投資計画の内容（複数回答）

設備投資計画の動機は、「売上の維持・増加」が62.3%（前年同期66.2%）と引き続き突出しており、次いで「衛生水準・安全性の向上」28.5%（同19.9%）、「経営の多角化」16.9%（同20.3%）、「経費削減・増加の抑制・人員合理化・省力化」12.5%（同11.3%）の順となっています。

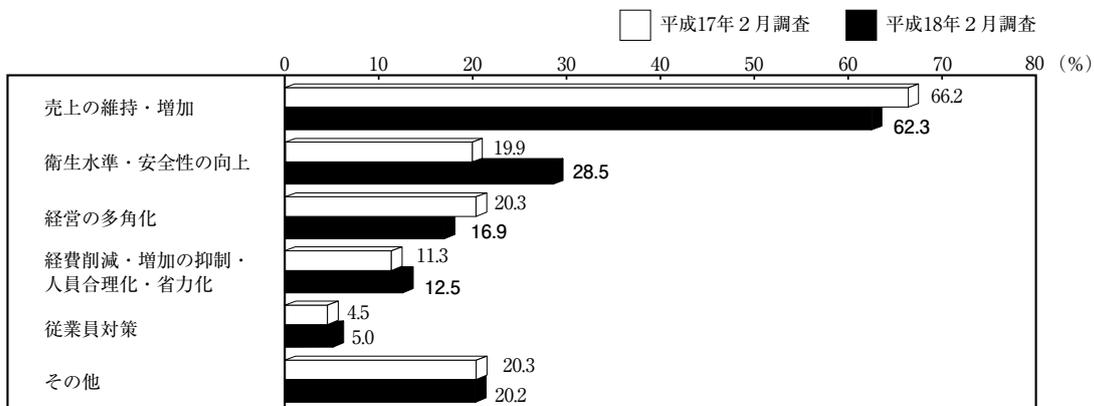


図4 設備投資計画の動機（複数回答）

設備投資予定金額別では、500万円以下とする企業が、全体の70.6%（前年同期68.6%）を占め、その中では100万円超～300万円以下が32.6%（同32.2%）、100万円以下の設備投資予定が26.7%（同21.8%）となっています。

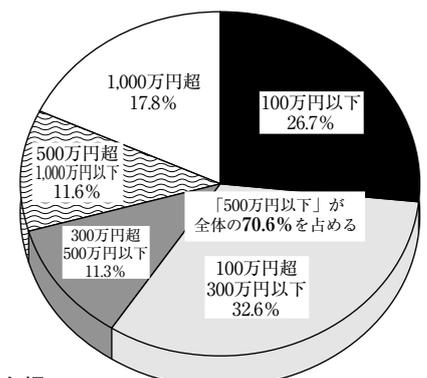


図5 設備投資予定金額

# 期待される地域福祉活動と地域のサポート

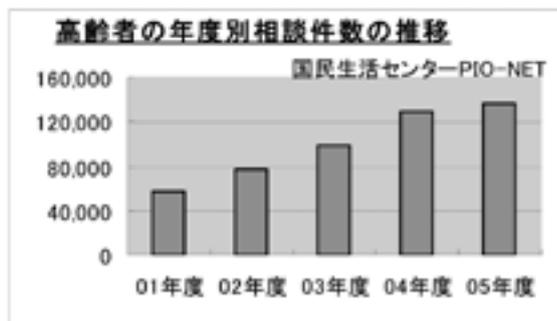
＜社団法人全国消費生活相談員協会 消費生活専門相談員 横山 房子＞

「地域で暮らし支える」という活動が、いま重視されています。高齢社会の進展、社会構造の変化、犯罪や事故の多発など問題山積みのなかで、求められるのは“皆で暮らしを支えあう”という視点なのかもしれません。

生活衛生関係事業は、住民に身近なところで暮らしに不可欠なサービスや商品を提供している業種が多く、関係事業者には、いわば地域産業の担い手といった方々が多くおられると思います。テレビ番組「ご近所の底力」ではありませんが、ご近所には期待が寄せられています。

## 高齢者をターゲットにした悪質訪問販売

高齢者の相談件数は、  
01年度は56,913件でした。  
4年間で2.4倍にも  
なっています…



## ＜増加し続ける高齢者の被害＞

全国の消費生活センター等に寄せられた相談のうち、70歳以上の高齢者を契約当事者とする相談は137,396件（国民生活センターPIO-NETによる）にのぼっています。上の図表（↑）は最近5年間の相談件数の推移ですが、年々増え続けています。

高齢になると、一般的に、加齢により心身の機能が低下してくること、新しい情報や知識が不足しがちになること、さらに、老後の暮らしにと相当程度の資産を有している場合が多いことなどから、高齢者は悪質訪問販売のターゲットにされています。高齢者の被害が現役世代に比べて深刻なのは、年金生活者などでは、経済的被害によるダメージが大きく、回復が非常に困難であるという点です。

## ■こんな相談があります■

実家には、うつ病の妹が認知症の母と住んでいるが、訪れた業者に騙されて家のリフォーム工事契約をし、二人連名で2,500万円のローンを負った。このことで妹の病気が悪化、母の介護どころか本人が立ち直れない状態である。家、土地とも金融業者の担保に入っており、おまけに全財産を妹に相続させるという母の遺言書まで作成されていた。

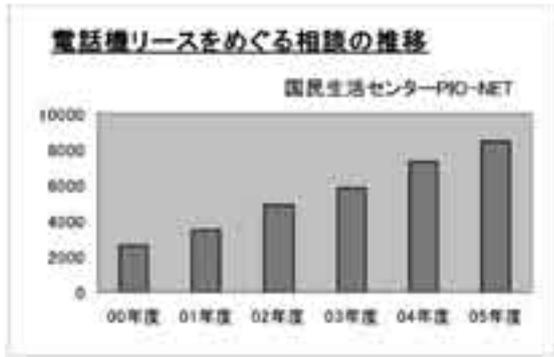
（電話相談「契約なんでも110番」より）

## ＜地域での取り組みに期待＞

（社）全国消費生活相談員協会では、内閣府の委託により、消費者契約や消費者トラブルとその対応策など、消費者問題についての「出前講座」を毎年実施しています。2005年度は、とくに高齢者の周辺で日常的に高齢者に接する介護ヘルパーさんや民生委員さん向けにも出前講座を企画・実施しました（全国300か所）。地域福祉事業との連携の試みですが、民生委員さんには「地域に密着した活動をしている民生委員への期待を再認識しました」と受け止めていただきました。高齢者の悪質商法対策を地域福祉活動として取り組む地域も多くなっています。

# 消費生活相談の現場から

## 事業者を狙った電話機などのリース販売



### <個人事業者のリース契約>

個人事業者をねらって、詐欺的なセールストークで高額な電話機などを売りつける訪問販売が横行しています。実質的には廃業している個人事業者なのに、屋号で契約させるケースもあります。

#### ■こんな相談があります■

先日亡くなった父が訪問販売で電話機のリース契約をしていたことがわかった。父はかつて店をしていたが、高齢による判断力の低下や体力の衰えがあって契約したときは、もう廃業していた。ずっと病院に通院している状態だった。リース会社に解約を申し出たが、残額一括請求され納得がいかない。

(電話相談「契約なんでも110番」より)

### <事業者間契約はクーリング・オフできない？>

電話機等の訪問販売は、特定商取引法が規制する訪問販売に該当し、法の要件を満たせばクーリング・オフによる契約解除ができます。また、セールストークに嘘があり、それを信じて契約したのであれば、契約の取消しもできます。しかし、この法律が消費者保護を目的とし

ていることから「営業のため若しくは営業として」との契約を適用除外としており、そこをねらった悪質商法が、個人事業者の被害を増加させています。

### <事業者かどうかは実態で判断>

こうしたことから経済産業省では、詐欺的な手口で個人事業者等にリース契約をさせるケースに対応して、昨年12月、「特定商取引に関する法律等に施行について」(通達)の改正を行いました。

一つは、特定商取引法の適用を受ける範囲の明確にしたことです。事業者名義の契約であっても、購入したものが主として個人、家庭用であれば、原則として特定商取引法による救済が受けられるようになりました。

二つは、販売会社とリース会社の営業活動を「一体」とみなしたことです。電話機リースは、販売会社が契約交渉に当たり、契約はリース会社と結ぶ、という仕組みになっていますが、一体とみなすことで、リース会社も法が規制する販売業者等に該当することを、明確にしました。

店の名前で契約しても、その電話機が半分以上自宅用にも使用するものなら、クーリング・オフができます…

### <お互いの情報交換も大事>

リース契約は電話機のほかファクス、パソコンなどもあります。情報が少なく、新しい知識に疎い個人事業者等が被害にあっています。なかには高齢者も多くおられます。周辺にいる家族も含めて、情報を交換しあうなど地域のサポートも大切です。

# 特相員だより——街の知恵、地域の心



## 全組合員網羅のグルメHP / 他県交流で攻めの組合運営

□沖縄県飲食業生活衛生同業組合・特相員□

棚田 貴義

特相員は平成13年から。当時、特相員として中心的に活躍していた組合事務局長が病に倒れ、本島の業務のほとんどが私の担当となりました。扱い件数は多い月で6件にもなって、それは大変でした。今は4人に増え、融資委員会に上げる前にきちんと事前審査しています。

組合の副理事長も務めさせていただいています。こちらは平成14年から。本島北部には支部が本部（もとぶ）しかなかったのですが、昨年、當山政順理事長の働きかけで名護支部が発足、組合員は総勢800人を数え、ますます活気を見せています。

活動の中身も活発です。昨年、組合員全参加の「しまグルメ」のホームページ（HP）がスタート、多いときは全国各地から1日1万件のアクセス数を記録しています。組合員

全部を網羅したものは全国的にも珍しいと思いますよ。

攻めの組合運営が可能なのは、執行部が50歳台と若いせいだと思っています。私も若いつもりですが、30代の若い組合員の発想には刺激を受けますね。店内でお客様に足湯を楽しんでもらうカフェバーとか、ペンギンを放し飼いしたり、体長1.5mのワニをオリに入れて飼っている居酒屋などが出現して、びっくりさせられます。

他県との交流にも着手しています。手始めに今年2月、東京の新宿京王プラザホテルにて、沖縄出身の飲食店経営者40人と沖縄県の組合員35人が意見交換し、互いのノウハウを学ぶことができました。次の交流会開催に向けて現在、別の県の組合と準備中です。

生活衛生業の皆様へ

## お店の繁栄に「生活衛生融資」を……

くわしくは最寄の支店窓口または相談センターでご相談下さい。

相談センター：東京03(3270)4649、名古屋052(211)4649、大阪06(6536)4649

飲食店営業



食肉販売業



喫茶店営業



食肉肉類販売業



冰雪販売業



原産業



浴場業



クリーニング業



興行場営業



理容業



美容業



- お店の新築
- お店の増改築
- 設備・機械
- お店を賃借する場合の①入居保証金
- 店舗等の買取り
- 土地に要する資金
- 運転資金
- ②敷金・権利金



大きな明日へ いきいき融資

**国民生活金融公庫**

ホームページアドレス(URL)  
<http://www.kakukin.go.jp/>



# 大阪府生活衛生営業指導センター

大阪市中央区谷町1-3-1  
双馬ビル4階  
理事長 西田 實氏  
事務局長 長澤 直哉氏  
職員数 5人  
(うち経営指導員3人、理事長含む)  
電話 06-6943-5603  
URL <http://www.seiei.or.jp/osaka/>



飲食業組合の「ユニオン・サマー・カーニバル」(平成17年8月)

食業組合。平成11年、繁華街での風俗営業の看板や案内所の乱立、強引な客引きなどの環境悪化を食い止めようと、組合内に「防犯委員会」(現在は「防犯協会」)を設立。警察・行政・地元団体と共に、歓楽街のパトロールやクリーン活動に汗を流している。パトロール時には組合員百数十人が結集、組合員どうしの結束を高め、組合離れを防ぐのに一役買っている。

このほか、毎年8月、組合員400人規模の交流会「ユニオン・サマー・カーニバル」を20年にわたって開催している飲食業組合、空き缶のプルトップを集めて、車椅子を贈る運動をしている理容組合…。「活力ある組合は、地域とのつながりや組合員の結束を大切に、大変な努力をしています」と、長澤直哉事務局長は語る。

### ■各組合をつなぐセンター

組合の独立性が高い分、横の連携を深めることに、センターが役割を発揮している。センターには、各組合の実務担当者による「事務局会」の事務局があり、情報交換の場となっているほか、特相員との合同研修も実施。毎年、人権啓発の研修を行っているのも大阪ならではの、昨年は法が全面施行となった個人情報保護について専門家による講演を行い、「タイムリーな話題」と好評を得た。「企業

太閤さんの時代より、商都のにぎわいを今に伝える街・大阪。「どんなに古く、小さな店でも、お客さんに喜んでもらうために一生懸命努力している誠意は必ず伝わる。商いと、ありがたいものですなあ」。柔和な表情でこう語るのは、大阪府生活衛生営業指導センター(以下、大阪センターと表記)の西田實理事長。言葉どおりの誠実な人柄で、業種を超えて人望厚い西田理事長のもと、各組合の歴史と独自性を尊重し、それぞれの活動がスムーズに行えるよう、側

面から支えていこうというのが大阪センターの信条だ。

### ■ユニーク作戦で組合員獲得へ

大阪府内の同業組合は全17業種、いずれも比較的大規模で歴史も古い。昭和32年に「環衛法」ができる以前から任意団体や協同組合として発足していたものもあり、各組合が独自色の強い事業を展開している。今年4月1日現在の組合員数は19,286人。ここ5年間は、ご多分に漏れず前年比4%前後の減少傾向にあるが、増加に転じたり下げ止まったりしている組合の健闘が光る。

中華料理業組合は、平成17年度に組合員数が800人を切ったことに危機感を持ち、新組合員開拓を専任業務とする職員を採用。各支部長からの情報を元に、担当職員が1軒ずつ店を訪問して勧誘、同年7～12月の半年間に20名増の成果を得た。

社会貢献活動で存在感を組合内外にアピール、組合員減少に歯止めをかけているのは社交飲



社交料飲組合の防犯キャンペーン活動(今年4月)

## 各組合つなぐ “仲人役” に徹する

不祥事」が相次ぎ、企業経営に人権感覚の重要性が指摘されるこの時代、特筆に価する活動といえよう。

毎年10月には、府内11か所で、各組合支部長・国民金融公庫担当者・センター職員・特相員との「地区別連絡協議会」を開催。長澤事務局長は「昨年、すべての協議会に出席しましたが、各地の現状やセンターへの要望を聞く、よい機会になりました」。国金にとっても、借り手の遠慮ない本音を聞け、組合員対応に役立っているという。

### ■地域に根ざした活動を

大阪センターは、厚生労働省が推進している「健康入浴推進モデル事業」に積極的に取り組んでいる。昨年は3か所のモデル浴場で5回ずつ、健康相談や健康体操、落語の上演などを実施、総計299人の参加があった。この事業を担当する植村重義参事は、何度も地元に出向いて市・区の保健センターや地域のボランティアグループ、社会福祉協議会などと協議を重ねてきた。浴場の利用者拡大はもちろんだが、地域の健康づくりを推進する立場にある人々を、この事業にいわば巻き込むことの相乗効果を狙ったのだといい、成果は上々のようだ。

また、浴場経営者には「健康入浴推進員」の資格を取ることを大いに勧めており、昨年

は98人が取得した。「一過性のイベントに終わらせず、モデル事業終了後も、

それぞれの浴場で地域に根ざした活動に発展させてほしい。17年度のモデル浴場ではそういう機運が育っています」と、人なつこい笑顔で語る植村参事。ここでも、センター主導でなく、組合員の主体性を大切にする大阪センターの気風を感じた。

浴場組合理事長も務める西田理事長は「銭湯の必要性を国が認めてくれたことは本当にありがたいことです。銭湯は高齢者の健康に資すると同時に、子どもたちに社会のマナーを伝える場。今後は、子どもに足を運んでもらえるような取り組みが課題」と言い添えた。今年度は前後期に分け、それぞれ4浴場で3回ずつを計画している。

### ■助っ人登場で融資相談が充実

平成17年度の一般貸付の実績は、1,783件（90億4700万円）、小企業等改善貸付は207件（5億8566万円）で、いずれも前年比をわずかに割り込んでいるものの、件数・額ともに全国一の規模だ。また、組合員以外の融



西田 實  
理事長



センターの皆さん。前列⑤より  
植村重義参事、長澤直哉事務局長、後列⑥より横田実事務職員、木戸貞夫主幹

資割合が高いのも大阪の特徴。

この多忙な融資相談業務にあたる木戸貞夫主幹は今年4月に着任したばかりで、前職は国金の大阪相談センター所長。相談所長時代に培った組合との人脈は広く、木戸主幹を頼ってセンターを訪れる組合員も少なくないという。「本来、国金に相談するような案件がこちらに来ることになってしまって…」と恐縮する生真面目さが、職場が変わっても慕われる一因か。「組合員さんでセンターがにぎわうのはいいこと」と長澤事務局長は歓迎している。

### ■Sマーク登録も着実に

平成17年度のSマーク登録数は、従来の3業種で3,357件。新規に始まった麺類飲食と一般飲食は、今年5月現在で35件だ。大阪府では全国に先駆けて、平成8年、行政と飲食業界団体による「大阪ヘルシー・外食推進協議会」が発足。保健所が無料でカロリー計算を実施している。

## アサリ漁に忙しい江戸前の町



J R木更津駅前に立つタヌキの像

東京湾を横断するアクアラインが開通して久しい。一度は通ってみたいと思っていたが、やっとそのチャンスに恵まれた。

東京駅から木更津行きのバスに乗り、約1時間の道のりである。銀座の町を抜け、レインボーブリッジを渡り、お台場から東京湾トンネルへ入る。初夏の日差しが強い日だったが、トンネルに入るとしばらくするとバスの窓ガラスがひんやりとして、海の中に入ったことを肌で実感させられた。

これまでニュースなどで、アクアラインは利用者が少な

### ぶらり旅・ きまま旅 〈8〉

旅行ジャーナリスト  
佐々木 いつか

いことで無駄だったのではな  
いかと非難を浴びていたこ  
とは知っていた。それでも運  
搬車のような業務用の車は利  
用するのではないかと思っ  
ていたが、実際に通ってみると  
ウィークデーということも  
あつてか、木更津側に出るま

でトンネルの中は  
私が乗ったバスだ  
けだった。アクア  
ライン不要論には  
それなりの真実が  
あつたのかと思  
いながら車窓から暗  
いトンネルの中を  
見ていると、壁面  
に800Mという

表示が出てきた。不思議に  
思っていると、今度は600  
M、そして400Mと続く。  
この数字は木更津側のトンネ  
ルの出口までの距離を表して  
いるらしい。

トンネルを出ると東京湾上  
を走るが、しばらくすると遠  
浅の干潟で漁師たちが麦わら  
帽子をかぶってアサリ採りに  
精を出す光景に出会う。木更  
津は江戸前の海の幸に恵ま  
れ、なかでも初夏の頃のアサ  
リ採りは風物詩にもなってい  
る。週末にもなると関東一円  
から家族連れが訪れて潮干狩  
りを楽しむ。

木更津のアサリは、同じ江  
戸前でもほかの地域で採れる  
ものより味がよいことで知ら  
れている。木更津港の近くに  
ある魚屋をのぞくと、アサリ  
のほかにも地元で採れたとい  
う見慣れない貝類や江戸前の  
魚が並んでいた。そんな魚を  
食べさせてくれるのが、木更  
津駅西口と木更津港の中間地  
点にある「木更津・味処 宝

家」だ。富士見通りに面して  
建ち、江戸情緒あふれる店内  
で江戸前の魚をいただくのも  
おつなものである。

その富士見通りを木更津駅  
の方へ歩くと左側に光明寺が  
ある。この寺には、歌舞伎「与  
話情浮名横櫛（よわなさけう  
きなよこぐし）」に出てく  
る切られの与三郎のモデルと  
なった長唄の太夫・4代目芳  
村伊三郎の墓がある。この演  
目の初演は嘉永6（1853）  
年だが、今日でも歌舞伎役者  
たちは卒塔婆をたてて供養を  
している。

下調べもしないで出かけた  
今回の旅では、光明寺の切ら  
れの与三郎の墓もそうだが、  
もう一つの発見があつた。そ  
れは「しょ、しょ、証城寺、  
証城寺の庭は…」という童  
謡「証城寺の狸ばやし」で知  
られる證誠寺が木更津駅から  
ほど近いところにあつたこと  
だ。子どもの頃に口ずさんだ  
童謡の舞台を訪れ、記憶が逆  
流するような感動があつた。

×月△日  
阿波踊りにはまっつてしまっ  
た。

ことの始まりは昨年8月。毎年恒例の東京・高円寺阿波踊り大会を初めて観た時のこと。そこで今まで見たこともない日本人の熱い姿に感動し、瞬間に踊りの虜とろになっ  
てしまった。

阿波踊りは男踊り、女踊り、鳴り物で構成され、踊り手たちは、それぞれ個性豊かな踊りを演じる。軽快なリズムにのって、一人だけ道化役が違った踊りに興じ、威勢のいい男踊り衆に混じって、半被姿の女性が切れのいい色つぼさを弾かせる。そして編笠の陰からたまにその表情を覗かせる女踊りの動きのなまめかしいこと！

かく言う私、実はダンス歴20余年。子供の頃は父の仕事の関係でワルシヤワで育った。そこではバレエのレッス

### 働く女性のこだわり日記



ンに通った。帰国後はジャズダンスに転向。しかし、今ままでどうしても人前で踊ることに抵抗があった。いくら練習しても見せ物にはならないと諦めていた。

ところが阿波踊りにはそうした居心地の悪さはなく、日本

人本来の姿で美しさを、熱つぼさ、

そして何よりエンターテイメント性を表している。

後日早速、東京で活動する連(阿波踊りのグループ)にメールし、入連させていた。こうして週一回近所の公民館で阿波踊りの練習をす

### 仕事の後は、「踊る阿呆」

る生活が始まった。

いざやってみると、思っていたより難しく、体力が必要などが分かった。まず腰を低くした姿勢がきつい。日本舞踊の師匠によると、腰を低くした踊りは稲作文化圏特有のものだそう。海外のダンサーとのコラボレーションも行っているこの師匠いわく、「西洋人に低い姿勢で躍らせても、どうも様にならない」とか。それなら私の遺伝子のどこかに田植えの記憶があるはず。

私の連は、7月末の神楽坂まつりを皮切りに、8月の「中日黒夏祭り」、三鷹阿波踊り、そして徳島に次ぐ規模の高円寺阿波踊り大会など、都内で数多くの出演予定がある。今年の夏はいつになく忙しくなりそ



日本人の遺伝子と呼び覚ます阿波踊り  
(東京・中目黒「目黒銀座連」提供)

うだ。

練習日は残業で出られないことのないように、朝から無駄口も聞かず、一心不乱に仕事をやる。普段の120%をこなし、記事に怪しい記述がないことを確認して、また理論武装し、帰り際に、「高樹さん、ちょっと」なんてことのないように細心の注意を払う。ここでつかまったら最後。2、3時間は残業になってしまふのだ。いつもと違った私の様子に気づいた先輩は、「今日はひよっとしてコレ？」と言っ、手を上にかざし阿波踊りの真似をする。

(英字誌記者 高樹 かほ)

(財)全国生活衛生営業指導センター賛助会員  
(50音順、7月25日現在)

- アメリカンファミリー生命保険会社  
〒163-0237 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル37階
- 株式会社ダイワサービス  
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-5-16 大和ビル
- 株式会社トーコン・システムサービス  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-18-6 トーコンビル
- 株式会社ユニバーサルファミリー  
〒164-0012 東京都中野区本町4-45-9 ユニバーサルビル
- 芝サン陽印刷株式会社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-22-13
- 社団法人日本サウナ協会  
〒102-0085 東京都千代田区六番町1 番町一番館ビル2階
- 菅原印刷株式会社  
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1
- 第一生命保険相互会社  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-13-1
- タカラベルモント株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-19 タカラ椅子会館内
- 中央法規出版株式会社  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-4
- 日本ハム株式会社  
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第二ビル
- 日本標識株式会社  
〒143-0011 東京都大田区大森本町2-4-9



▲初夏に姿を見せる世界最小のハッチョウトンボ(岐阜県加茂郡八百津町で)

## 小さなクロスワードパズル

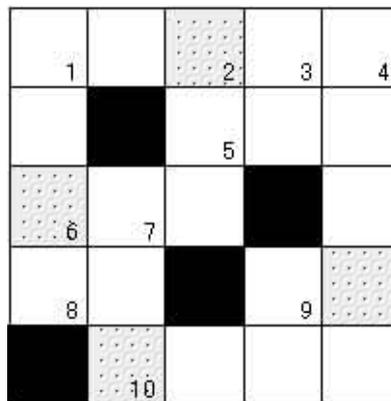
(模様付きの枠に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう)  
ヒント：7・8月にちなんだ花です

### 【よこのかぎ】

1. 鉄棒技の一つ。
5. 沸かしたての風呂の湯。
6. 犯人を騙す——〇〇〇捜査。
8. 気分がふさぎこんでいます。
9. 吉野ヶ里遺跡は〇〇県に。
10. サイン、コサイン、タンジェント——〇〇〇〇関数。

### 【たてのかぎ】

1. 人間万事〇〇〇〇が馬。
2. 潮干狩りで獲る二枚貝。
3. 煮出してスープを取ります。
4. 外国で勉強すること。
7. ほんの一瞬、たちどころ。
9. 上りと下りがあります。  
(答えはこのページのどこかに)



## 生衛ジャーナル

7月号 平成18年7月発行 通巻366号 定価420円(本体価格400円)

- 編集・発行 財団法人 全国生活衛生営業指導センター 編集長 小宮山 健彦 編集主幹 萩原 壽  
〒105-0004 東京都港区新橋6-8-2 (全国生衛会館2階) TEL 03(5777)0341 FAX 03(5777)0342
- 制作 菅原印刷株式会社  
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1 エスピービル TEL 03(5687)2211 FAX 03(5687)2310  
http://www.sugawara-p.co.jp E-mail:journal@sugawara-p.co.jp

(答え=アサガオ)

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。